

目次

【新版】はしがき

プロローグ 日本法史への扉——法史学の存在意義と史料の諸形態…………… 1

I—法史学の存在意義…………… 1

II—法史料の諸形態…………… 5

総論 法の移り変わり——古代法から近代法へ…………… 9

第一部 法と紛争処理の形態

A 「法」の存在形態

第1講 律令法とは何であつたか——日本における古代法の位相…………… 17

1 神法から俗法へ——法の顕現…………… 18

2 日本律令裁判の特質——郡司の裁判・太政官の裁判…………… 23

3 おわりに——検非違使の裁判—— 29

第2講 律令の解釈と明法家…………… 31

1 律令法曹の養成と明法家 31
2 明法家の法解釈 35
3 律令解釈の現実 39

第3講 御成敗式目と中世法…………… 43

1 鎌倉幕府とは何なのか 43
2 中世法の中の御成敗式目 45
3 御成敗式目の中身 49

第4講 中世における法の世界…………… 55

1 当事者主義の原則 55
2 法の効力 57

第5講 江戸幕府法と藩法…………… 67

1 慶安御触書 67
2 幕府法と藩法 69
3 慶安御触書の広まりと幕府法・藩法の変化 74

第6講 公事師・公事宿から弁護士へ…………… 78

- 1 公事師と公事宿 78
- 2 代言人から弁護士へ 85

第7講 西欧型法典の編纂…………… 90

- 1 近代日本における法典編纂 90
- 2 民法の編纂 92
- 3 旧民法の編纂 94

B 「法」と裁判

第8講 盟神探湯から湯起請へ…………… 102

- 1 上代の盟神探湯 102
- 2 古代の律令裁判 107
- 3 中世の湯起請 108

第9講 中世における訴陳三番…………… 113

- 1 「獄前の死人、訴えなくんば検断なし」 114
- 2 訴訟手続の概観 115
- 3 召文に対する違背とは 120
- 4 訴陳状の行方 121
- 5 裁許状の作成手続 123

第10講 中世における和与……………125

- 1 鎌倉幕府法における和与 126
- 2 訴訟手続における和与の定義 128
- 3 和与状と和与認可裁許状 129
- 4 和与認可の申請手続と私和与 133

第11講 村落の相論と公権力——中世から近世へ……………137

- 1 室町期の村落と相論 137
- 2 戦国期の村落と相論 140
- 3 公権力の対応 143
- 4 「公儀」と村落 145

第12講 出入物と吟味物——遠くて近い江戸の裁判……………147

- 1 江戸時代の訴訟 147
- 2 出入筋の分化 148
- 3 吟味筋と拷問 152

第13講 内済から勧解・調停へ……………158

- 1 現代的問題 158
- 2 近世の内済 159
- 3 勧解から和解へ 166

第二部 民刑事法の諸相

A 刑事法―犯罪と刑罰

第14講 近代に生きつづける律令……………173

- 1 呪咀による殺人……………173
- 2 暴行・傷害の罪……………179

第15講 「密通」をめぐる法とその周辺……………185

- 1 近代法における姦通の取扱い……………185
- 2 江戸時代以前における蜜懐をめぐる罪……………189
- 3 江戸時代における密通をめぐる罪……………192

第16講 喧嘩両成敗と戦国大名法……………197

- 1 喧嘩両成敗法とは……………197
- 2 喧嘩両成敗法のルーツと要素……………199
- 3 戦国期の喧嘩規制……………202

4 喧嘩両成敗法の完成とその後 204

第17講 御定書にみる犯罪と刑罰……………209

1 「盗み」をめぐる法と刑罰 209
2 「人殺」をめぐる法と刑罰 212
3 「付火」をめぐる法と刑罰 214
4 乱心者をめぐる法と刑罰 217
5 幼年者の犯罪と刑罰 219

B 民法法①—物権と裁判

第18講 「公地公民」と墾田永年私財法……………221

1 公田と私田の観念 222
2 田地・家地売買の実態 227

第19講 「永仁徳政令」とは何だったのか……………232

1 「永仁徳政令」とは？ 232
2 「永仁徳政令」の内容 233
3 「永仁徳政令」を受容した社会 237

第20講 中世における売券……………243

1 中世における売券 243

2 売券にみられる代表的な文言 245

3 もう一つの売買のあり方 251

第21講 江戸時代は借金天国だったのか……………254

1 相对済令とは何か 254

2 江戸幕府法の債権 255

3 相对済令 257

4 金公事保護はなぜ弱かったのか 262

第22講 田畑永代売買の禁止から解禁へ……………264

1 近世の田畑所持 264

2 田畑永代売買の禁止 265

3 山城国乙訓郡長岡の田畑売買証文 268

4 明治期の土地所有と担保 274

C 民法②—家族

第23講 戸令応分条と古代日本の相続法……………277

1 律令からみた財産相続 277

2 財産相続の実態 283

第24講 中世武家法における女性の再婚と相続……………289

1 中世における婚姻・相続のあり方 289
2 再婚一般に関する『御成敗式目』の規定 290
3 改嫁の現実 293
4 再婚の現実 299

第25講 近世町人の遺言相続……………301

1 武士の相続 301
2 農民の相続 302
3 町人の相続 304

第26講 淳風美俗——民法出テ、忠孝亡フ……………311

1 穂積陳重と八束 311
2 二つの論争 314
3 「民法出テ、忠孝亡フ」 315

参考文献・史料出典一覧

あとがき——ふたたび「日本法史」とは何か——